

磐城時報

日刊 廿六日
編輯 磐城石城郡平野町十四番地
印刷 磐城石城郡平野町十四番地
電話 磐城石城郡平野町十四番地
代金 磐城石城郡平野町十四番地
廣告料 磐城石城郡平野町十四番地
印刷 磐城石城郡平野町十四番地
電話 磐城石城郡平野町十四番地
代金 磐城石城郡平野町十四番地
廣告料 磐城石城郡平野町十四番地

磐中。平商共に 凱歌を奏して歸る

濱三郡中等校野球試合

濱三郡中等校野球リーグ戦は二十五日午前八時から双葉中学校庭で舉行したが、磐中、平商、業何れも堂々と双中、相中を破り歸校した。結果左の如くである。

▲警中对双葉

試合開始 八時十四分
球審 天野、三島、楠谷
警中 11
双葉 0
警中 10 2 2 2 4 11
双葉 0 0 0 0 0 0 0

經過……警中一回小井戸凡退の後、後野四球を得て、石坂三壘に安打共、盗壘成る時、金成の投ゴロを投手一壘に暴投して、後野退り最初の一点を揚ぐ。續く田中四球に出で、金成の暴投に二者凡退して止む。二回三者凡退、三回後野三壘失に生き、石坂又三壘失に生き、金成四球を得て無死満塁、此時田中、杉浦の投ゴロに二者退り、二点を加ふ、四回金成凡退、阿部二失に生き、小井戸三壘の暴投に生く、後野右翼に二壘打して二者生還、五回金成暴投に生く、田中又遊撃安打に金成退り、金成金中堅、飛球の時田中退り二点を加ふ、六回小井戸内野安打、後野又左

▲平商対相中
試合開始 十時
平商 15 0 0 1 1 A 8A
相中 0 0 1 0 0 0 0 0 1
平商 1 5 0 0 1 1 A 8A
相中 0 0 1 0 0 0 0 0 1

經過……相中三回二者三振の後、一番打者佐藤二壘失に生き、原田の遊撃越の二壘打に一点を揚げしのみにて更に得点の機会なし。平商一回四球と敬失に一点を取、二回二死の後押出一点を獲得し、満塁の時渡邊左翼に絶好の三壘打して三者退り、赤坂又安打して渡邊退り、一壘五点を加ふ。五回赤坂安打に出で、沼田二壘打して赤坂退り、六回二死の後原敬失に生き、渡邊の二壘打に一点を加

一、計八点を揚ぐ。
盗壘 平商(四) 相中(〇)
失策 平商(一) 相中(三)
▲平商対双中
試合開始 一時
平商 6A
双中 3
平商 1 0 0 0 0 5 A 6A
双中 0 1 1 1 0 0 0 3

經過……双中二回の一番打者富澤一壘を抜く二壘打に出で、鈴木は投ゴロを赤坂一壘に投じ、一壘手後逸する間に生還、三回林三壘失に生き、四球を揚ぐ。四番打者富澤一壘失に生き、時林生還、四回鈴木三壘失に生き、林退り、林退り計三点を揚ぐ。五回一番打者小泉左中間に二壘打し、富澤三壘失に生き、又もチャンスかと思はれし時、鈴木の遊撃ライナー、佐々木逆シリングルにて此の難球を取つて二壘に重殺、昨日全試合を通じてのファイナルプレーを演じて事無きを得。平商一回一番打者木中堅に二壘打して、後野二壘失に生き、此時敬失ありて一点を取、此後五回迄更に得点なく、大勢決するかと思ふ時、一死後渡邊中堅に二壘打して、沼田敬失に生き、此時赤坂左翼越の三壘打して二者生還、同点となる。森に代りし阿部四球を得、鈴木又敬失に生き、連失續出して、此回一壘五点を揚げ、凱歌に擧る。

▲磐中对相中
試合開始 二時五十五分
審判 光家、新妻、新工

早大生と偽はり 村長村議を騙る

賭博場に入り浸る

永戸村大字永井澤熊谷武雄(二前科十五犯を有する親分石川徳五)は失職したので早稲田大學之助方に寄食し毎日花合せ賭博生と詐稱し内郷、大浦、草野、を行つてゐた處を二十五日平署警備等各村の村長、村會議員、に檢舉されたが、同人の檢舉で區長等を歴訪し北海道に歸る旅石川方に入した賭博の常習者費を患んでくれと一圓内外宛騙十數名は芋蔓的に檢舉された。取し最近では内郷村大字宮賭博

三中等校庭球戦で 平商校優勝

双葉中學校庭球部では二十五日平町に遠征し來り磐中、平商業兩校と試合を行つたが、双中對商業試合は午前中平商業校庭で行、双中十二、商業二十二で商業大勝。双中对磐中試合は磐中校庭で一組優退の方法で行ひ、磐中側優退二組を残して大勝。終つて磐中对平商業の試合を舉行し左の如く平商業優勝した。

宮谷川	0	4	本
大宮	4	4	本
水松野	4	2	本
水松野	4	2	本
小川	4	3	本
小川	2	4	本
同	2	4	本

吉田禮次郎氏逝く

政界實業界の大立物

平町字白銀町平陽舎吉田新聞店主吉田禮次郎氏は二十五日午前二時突如腦溢血を起し死亡した享年六十四歳である。葬儀は明二十七日午後二時半より平町十五丁目日本キリスト教會で告別式を営み遺骸は大寶寺に埋葬する由である。

ハماغリをとる者 四倉署で取締る

蛤は本縣に於ては縣令により五志賀氏は岡田炭礦岡田力松氏が月、六月の二ヶ月間は捕獲を禁ら右債權の譲渡をうけたものであり、右期間外でも直經二ある寸以下のものは絕對にとる事を禁じてあるが、最近四倉海岸に於て淺瀬から蛤を取る事が増加したので四倉署では発見次第處罰する事になつた。

▲大浦村議當選者
大浦村々會議員の改選は昨二十五日執行したか、投票數八百六十五、有効票八百一、無効四、棄權六十四にして結果左の如し
九八高崎清壽、七四會川川利作
七三高木林平、六七渡邊貴一
六六新妻辰尾、五九渡邊周平
六六中野忠太郎、五二鈴木武兵衛、四七片寄甚松、四六根本助三郎、
▲次点三五根本甚吾 以上

▲木炭商組合會
濱三郡木炭移出商組合役員會は來月三日午前十時から平各種團休事務所を開く。

▲阪東三津五郎
平町古御治町志賀定平氏は山野邊辯護士を代理人として松竹會社所屬防東三津五郎事務田治作氏を相手取り五千二百圓の貸金圓二十錢といふ高値を示し活況請求訴訟を平支部に提起した。を呈してゐる。

▲浪江生商共販
見本取引活況
双葉郡浪江町養蠶實行組合では二十二日午前九時から青年會館において生商共同販賣見本取引を行つたが取扱ひ數十七口收購額四百三十五貫、總賣上金一千五百五十四圓四十錢で内最高六圓

▲貸家
元紺屋町局跡
加納五郎

當選御禮

今回大浦村々會議員選舉に際し各位の深甚なる御同情により當選致し候段厚く御禮申上候乍略儀不取敢以紙上御禮申上候

昭和八年六月二十六日

(順不同)

高崎	高川	會木	高邊	新妻	新妻	愛川	新邊	渡邊	中野	鈴木	片寄	根本
清壽	利平	林一	貴忠	軍忠	周辰	太兵	野忠	野忠	野忠	野忠	野忠	野忠
三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎	三郎

醫院開業披露

元高屋醫院跡に
本日より醫院を開業致しました。
宜しく御引立を願ひます。

内科 午前中は 自宅診療
小兒科 午後後は 往診
外一般科

双葉郡久之濱町字南町

中島醫院
院長 中島 幸男
電話(久之濱)十八番

藤寅

毎度御引立を戴いた蒲鉾製造の藤寅は、例年の通り初めました。冷いお美味しい飲物。夏の夕の散歩には是非御立寄を...

アイスクリーム(山盛)	金拾五錢
あつきアイス(全)	金五錢
ミルクケーキ	金拾五錢
ソーダ水(各種)	金拾五錢
みづ豆(特製)	金八錢
其他...水水各種	一(出前迅速)

印刷物

印刷物は...加納活版所へ

春・秋・冬中は蒲鉾・磯田場等に付多大の御ひいき下され御禮申ます。夏期中は皆々様の納涼の慰?

例年の通り

みつ豆・氷水 其他
アイスクリーム 各種
ミルクケーキ

賣初めました
尚一層の御引立を願います
弊店は電力應用に付配達は迅速にいたします

藤市
電話三〇五番

大藏省允許

無盡 貯蓄 保險

胃腸科 専門

腸十二指腸 腸胃病 胃腸科 腸胃病

皮膚病 婦人病 淋病

院醫科 村松
【番七〇一話電】町南町平

電話開通披露

本月より
電話十五番設置しました。御遠慮なく御利用下さい。
福島縣四倉町本町
平熊藥店
電話十五番

木村病院
電話二六四番

父禮次郎儀 旅行中水戸市にて腦出血症を起し六月廿五日午前一時自宅に於て死去致候に付生前の御厚誼を拜謝し此段謹告仕候

追て明後二十七日午後二時自宅出棺平町十五丁目日本基督教會にて告別式執行後平町大寶寺に埋葬可致候 敬具

昭和八年六月二十五日
福島縣平町字白銀町

男 吉田 素三
男 吉田 喜代治
親戚總代 吉田 四郎
友人總代 山崎 與三郎
青沼 鋒太郎

謹啓 長女靜永々病氣の處療養不相叶六月二十五日午後十時死去仕候生前格別の御温情を賜り候段深謝候

茲に御禮を兼ね御通知申上候 敬具

追而告別式は六月廿七日午前十時より十二時迄(途中葬列を廢し)大館明賢寺に於て相替り可申候

昭和八年六月二十六日
平町八幡小路
柴田 德二

皇漢藥合成品

喘息五靈湯

頑固性 慢性ニヨシ
五日分 一週
喘息、氣管喘息、神經喘息、痰咳、氣管支カタル等の慢性頑固性に卓効を有す。他藥にて全治困難の人々に一度の御試用を勵む。

山野邊藥局